

京都大学経済学研究科附属プロジェクトセンター主催

第7回

先端ファイナンスビジネス研究会

「信託」と新商品開発



講師：星治氏

三菱UFJ信託銀行株式会社 フロンティア戦略企画部長

日時：12月19日（水）16:30-18:00

参加：自由（事前登録の必要はありません）

場所：総合研究2号館・大講義室

お問合せ： 経済学研究科 附属プロジェクトセンター
加藤康之/遠藤富貴子

Mail kato@econ.kyoto-u.ac.jp

Tel 075-753-3429(加藤)/3443(遠藤)

「信託」とは、信じる人に財産を託して管理して貰う仕組みであり、ローマ時代からとも言われる長い歴史がある。人間の本源的なニーズに基づくものであり、社会で幅広く活用できるものである。日本では信託の活用例はそれほど多くはないが、今後、種々の場で用いられることが期待されている。本講義では、信託の仕組み、日本の信託銀行の業務の概説を行った後、三菱UFJ信託銀行が実際に取り組んでいる最先端の新商品開発について事例を交えて紹介する。また、金融の世界での新商品開発に係る実務上のハードルについても付言する。

<先端ファイナンスビジネス研究会の趣旨>

ITや金融技術の進展は金融ビジネスを大きく変貌させている。それは、リーマンショック以降も同様である。ファイナンスビジネスは伝統的な業態（銀行、保険、証券など）を中心とした構造から、新たな付加価値をもたらす新しいプレーヤーが大きな影響力を持つようになって来ている。広く金融市場、企業ファイナンスを理解するうえで、これら新しいプレーヤーの役割を理解することは必須となっている。

「先端ファイナンスビジネス研究会」では、これらの新しいプレーヤーを理解することを目的とし、各分野の実務担当者を招き講演、自由討議を行うものである。